（別紙様式1）

**2022年度事業化促進プロジェクト申請書**

**【Ａ．産学共同研究コース】**

（※申請書は、全体で6ページ以内に収めてください。）

　　　　　　　　　　　　　　　　　申　請　者（プロジェクト代表研究者氏名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　所属・職名

**1　研究題目（和文）：**（50字以内）

**1　研究題目（英文）：**（25 words以内）

**2　申請種別**（いずれかの□をチェック、継続の場合には(1)～(3)を記載すること）

□ 新規　　□ 継続

(1) 研究場所

(2) 初回採択年度

(3) これまでの目標および計画に対する実績　（300字以内）

**3　共同研究の相手企業名および共同研究額**

**4　プロジェクトの構成員**　（適宜、欄を追加のこと）

|  |  |
| --- | --- |
| **プロジェクト代表研究者（常勤教員）** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **参画研究者** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **参画研究者** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

**5　プロジェクトの概要**　（200字以内）

**6　開発技術の優位性**

（民間企業と共同で目指す製品・サービスの概要、開発技術の果たす役割、技術優位性、事業化時期等）

**7　経済的・社会的インパクト**

（市場規模、市場シェア、売上規模等の見込みを記載すること）

**8　プロジェクトの期間**　（いずれかの□をチェック）

□ 1年間

□ 2年間

□ 3年間

**9　プロジェクトの目標と計画**

（各年度の目標と活動計画を記載すること）

**10　産学共同研究の実績と計画**

（１）本研究課題に関連し、これまでに実施した民間企業共同研究の実績（企業名、年度・期間、共研費用）

（２）今後の民間企業との共同研究の拡大の見込み（企業名、規模など）

**11　希望する研究場所**

1. 面積　　　㎡程度
2. 場所（いずれかの□をチェック）

□　ILC棟　　□　共同研究棟A　　□　ILC棟、共同研究棟Ａのいずれでも可

1. 使用目的・使用方法・必要性（使用人数、頻度等を具体的に記載すること）
2. その他要望事項

**12　支援する研究費の用途**

　　（備品、消耗品、その他について金額と具体的な使途、および合計を記載すること）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予算費目 | 金額（千円） | 使途 |
| 運搬費 |  |  |
| 消耗品 |  |  |
| その他備品等 |  |  |
| 合計 |  |  |

**13　プロジェクト代表研究者とプロジェクトメンバーの主な業績**

（なるべく簡潔に記載すること）

**14　研究資金の取得状況**

（申請プロジェクトに関わるもので、過去3年間の科研費、競争的資金、寄付金等）

**15　知的財産の申請・取得状況**

**16　その他**

（標準化等、審査の参考となる特記事項）

以上

（別紙様式2）

**2022年度事業化促進プロジェクト申請書**

**【B　ベンチャー創業準備コース】**

（※申請書は、全体で6ページ以内に収めてください。）

　　　　　　　　　　　　　　　　　申　請　者　（プロジェクト代表研究者氏名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　所属・職名

**1　研究題目（和文）：**（50字以内）

**1　研究題目（英文）：**（25 words以内）

**2　プロジェクトの構成員**　（適宜、欄を追加のこと）

|  |  |
| --- | --- |
| **プロジェクト代表研究者（筑波大学の教職員、学生等）** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **参画研究者** | |
| 氏名 |  |
| 所属(または学年) |  |
| 職名 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **参画研究者** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

※プロジェクト代表研究者が学生等の場合、プロジェクト構成員の常勤教員を世話人とするならば当該教員の氏名の隣に「（世話人）」と記載し、プロジェクト構成員でない常勤教員を世話人とするならば以下に記載のこと。

|  |  |
| --- | --- |
| **世話人（筑波大学の常勤教員）** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

**3　プロジェクトの概要**　（200字以内）

**4　事業化のシナリオ**

（目指す製品・サービスの概要、想定顧客、競合に対する優位性等）

**5　知的財産の申請・所得状況**

**6　事業化結果の経済的・社会的インパクト**

（市場規模、市場シェア、売上規模等の見込み）

**7　プロジェクトの期間**　（いずれかの□をチェック）

□ 1年間

□ 2年間

**8　ベンチャー創業までの計画**

（起業時期および各年度の目標と具体的な活動計画）

**9　ベンチャー創業に向けての活動実績**

（筑波クリエイティブ・キャンプ(TCC)、アントレプレナー育成プログラム、起業家教育講座、EDGE-NEXT等の受講歴、プロトタイピングおよびPoCの実績等）

**10　希望する研究場所**

1. 面積　　　㎡程度
2. 場所（いずれかの□をチェック）

□　ILC棟　　□　共同研究棟A　　□　ILC棟、共同研究棟Ａのいずれでも可

1. 使用目的・使用方法・必要性（使用人数、頻度等を具体的に記載すること）
2. その他要望事項

**11　支援する研究費の使途**　※研究代表者が常勤教職員の場合に記載

　　（備品、消耗品、その他について金額と具体的な使途、および合計を記載すること）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予算費目 | 金額（千円） | 使途 |
| 運搬費 |  |  |
| 消耗品 |  |  |
| その他・備品 |  |  |
| 合計 |  |  |

**12　プロジェクト代表研究者とプロジェクトメンバーの主な業績**

（なるべく簡潔に記載すること）

**13　研究資金の取得状況**

（申請プロジェクトに関わる過去3年間の科研費、競争的資金、産学共同研究、寄付金等）

**14　その他**

（標準化等、審査の参考となる特記事項）

以上

（別紙様式3）

**2022年度事業化促進プロジェクト申請書**

**【C　起業済ベンチャー成長コース】**

（※申請書は、全体で6ページ以内に収めてください。）

　　　　　　　　　　　　　　　　　申　請　者　（プロジェクト代表研究者氏名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　所属・職名

**1　研究題目（和文）：**（50字以内）

**1　研究題目（英文）：**（25 words以内）

**2　申請種別**（いずれかの□をチェック、継続の場合には(1)～(3)を記載すること）

□ 新規　　□ 継続

(1) 研究場所

(2) 初回採択年度

(3) これまでの目標および計画に対する実績　（300字以内）

**3　研究プロジェクトの構成員**　（適宜、欄を追加して記載すること）

|  |  |
| --- | --- |
| **プロジェクト代表研究者（筑波大学発ベンチャーの代表等）** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **参画研究者** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| **参画研究者** | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 職名(または学年) |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

**4　ベンチャーの概要**　（300字以内）

（設立年月日、事業内容、資本金、社員数、直近会計年度の売上高・利益等を記載すること）

**5　知的財産の申請・取得状況**

**6　プロジェクト（開発内容）の概要**　（200字以内）

**7　事業成長のシナリオ**

（製品・サービスの概要、想定顧客、競合優位性、ビジネスモデル、成長戦略等）

**8　事業化結果の経済的・社会的インパクト**

（市場規模、市場シェア、売上規模等の見込み）

**9　プロジェクトの期間**　（いずれかの□をチェック）

□ 1年間

□ 2年間

□ 3年間

**10　プロジェクトの目標**

（各年度の目標と活動計画を具体的に記載すること）

**11　筑波大学教員との関係**

（現在実施中および実施予定の共同研究等について、教員の氏名・所属・職名、共同研究・技術指導の種別、研究概要、研究期間、研究費（直接）、進捗状況等）

**12　希望する研究場所**

1. 面積　　　㎡程度
2. 場所（いずれかの□をチェック）

□　ILC棟　　□　共同研究棟A　　□　ILC棟、共同研究棟Ａのいずれでも可

1. 使用目的・使用方法・必要性（使用人数、頻度等を具体的に記載すること）
2. その他要望事項

**13　プロジェクト代表研究者とプロジェクトメンバーの主な業績**

（なるべく簡潔に記載すること）

**14　その他**

（標準化等、審査の参考となる特記事項）

以上